

平成 2 8 年 2 月 1 日

産 業 厚 生 委 員 会

(所管事務調査分)

阿久根市議会

1. 日 時 平成28年2月1日(月)

9時56分開会
12時17分散会

2. 場 所 第2委員会室

3. 出席委員 仮屋園一徳委員長、白石純一副委員長、中面幸人委員、
野畑直委員、濱崎國治委員、牟田学委員、
岩崎健二委員、山田勝委員

4. 事務局職員 議事係主査 大漣 昭裕

5. 会議に付した事件

・所管事務調査事項

(1) 集落営農を活用した農業振興について

7. 議事の経過概要

別紙のとおり

議事の経過概要

仮屋園一徳委員長

時間前ですが、全員お揃いですのでただいまから産業厚生委員会を開催いたします。

本日はこの後、瀬之浦の京田園に移動しまして、瀬之浦水稻農作業受託組合の視察及び意見交換を行いますので、北側駐車場のほうに移動をお願いします。

なお、視察先から戻り次第、委員会を再開いたしますのでよろしくお願いいたします。

（瀬之浦水稻農作業受託組合へ 9：57～12：13）

仮屋園一徳委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

瀬之浦水稻農作業受託組合の視察を行いました。委員から何か意見等ありませんか。

中面幸人委員

きょうですね、地元で取り組んでいる農作業の受託組合という組織を、きょうは説明を受けました。やはりなかなか大変だなというふうな感じを受けました。あと一つですね、例えばこういう組織の中で、今は作業の受託組合、そういう組織であり、あと一つ、地域ぐるみでやる集落営農組織というのがありますけれどもですね、きょうの受託組合についてはいろんな課題等もですね、全部ではないですけれども、ある程度それなりに委員の方もわかったんじゃないかなという気がいたします。どういう、どっちのほうが取り組みがいいのかということもですね、やっぱり比較も大事ではなからうかと思しますので、あと一つ、集落営農組織のですね、そういう組織もまた一つ先進地があればですね、見てみたいなというふうに思うんですが、いかがでしょうか。

仮屋園一徳委員長

今、中面委員からそのような意見がでましたけれども、ほかの委員の方から今のに関連して。

山田勝委員

きょう京田園ののをずっとだまって聞いとってですね、どれぐらい難しいかというのがわかりましたよ、どれぐらい難しいか。例えば、そういうのもだけれども、国は例えば大型農業をして、そして日本のいい米をば外国にも売らないかんというのを政策を進めている中で、この集落営農が果たして、それがベターかと言え、私はそれよりも集落営農なら集落営農、今あちこちですね、阿久根の米を具体的にあちこち売ってるんだ、もう農協を通さないでやってるんだということのほうがむしろ生き延びるがなという気がしてならないのよな。難しい。

以上です。

仮屋園一徳委員長

今、集落営農の意見も出ました。当委員会ではですね、ほかにもまだ調査をしたい箇所が2、3ありましたので、そこも含めて時期的なものもありますし、今、中面委員からあったようなそういった意見等も含めて今後検討していくということでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ほかにはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかになれば、今後の所管事務調査に関する委員会の開催については委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

それでは以上で本日の産業厚生委員会を散会いたします。

(散会 12時17分)

産業厚生委員会委員長 仮屋園 一徳